

キャリア形成プログラム診療科別コース（青森県立中央病院）

別表 3

【内科モデルコース】

1 取得可能な専門医等の資格

日本専門医機構で定める内科専門医（基本領域）  
日本専門医機構で定める内科専門医（サブスペシャリティ領域）等

2 修得可能な知識・技能

総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症、救急等に関する知識  
医療面接、身体診察、検査結果の解釈、ならびに科学的根拠に基づいた幅の広い診断・治療方針決定等に係る技能

3 モデルコース

臨床経験年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9
コース 1	区分	卒後臨床研修		専門医研修（基本領域）			専門医研修（サブスペシャリティ領域）			
	勤務先	県内臨床研修病院		県病	連携・特別連携施設	県病または連携・特別連携施設	県指定医療機関（県病、弘前大学医学部附属病院等）			
コース 2	区分	卒後臨床研修		専門医研修（基本領域）			キャリア形成プログラムに基づく県内医療機関での勤務			
	勤務先	県内臨床研修病院		県病	連携・特別連携施設	県病または連携・特別連携施設	県指定医療機関（県病、弘前大学医学部附属病院等）			

4 連携・特別連携施設

	県指定医療機関		県指定医療機関以外 （勤務期間は義務猶予扱）
	医師少数区域及び 医師少数スポット	医師少数区域以外	
連携施設	三沢市立三沢病院 国立病院機構青森病院 八戸市立市民病院 十和田市立中央病院 むつ総合病院	弘前大学医学部附属病院	あおもり協立病院
特別連携施設	三戸中央病院 大間病院 公立野辺地病院 外ヶ浜中央病院		

※上記は基本領域における連携・特別連携施設です。

【麻酔科モデルコース】

1 取得可能な専門医等の資格  
日本専門医機構で定める麻酔科専門医（基本領域）  
日本麻酔科学会専門医 等

2 修得可能な知識・技能  
1）十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技能  
2）刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力  
3）医の倫理に配慮し、診療を行う上で適切な態度、習慣  
4）常に進歩する医療・医学に則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

3 モデルコース

臨床経験年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9
コース1	区分	卒後臨床研修		専門医研修（基本領域）				専門医研修 （新サブスペシャリティ）		
	勤務先	県内臨床研修病院		県病	連携施設	連携施設	県病	県病/ 大学/ 連携施設	県病/ 大学/ 連携施設	県病/ 大学/ 連携施設
コース2	区分	卒後臨床研修		専門医研修（基本領域）				キャリア形成プログラムに基づく県内医療 機関での勤務・派遣等		
	勤務先	県内臨床研修病院		県病	県病	連携施設	連携施設	県指定医療機関		

※上記はあくまでも一例であり、プログラムを中断した場合は義務履行満了まで年数が延長となる可能性もあります。

4 連携施設

	県指定医療機関		県指定医療機関以外 （勤務期間は義務猶予扱）
	医師少数区域及び 医師少数スポット	医師少数区域以外	
連携施設A	むつ総合病院	弘前大学医学部附属病院	大館市立総合病院 国立病院機構弘前病院 青森労災病院
連携施設B	青森市民病院 八戸市立市民病院 つがる総合病院 十和田市立中央病院 三沢市立三沢病院 黒石病院		弘前記念病院

【総合診療科モデルコース】

- 1 取得可能な専門医等の資格
- 日本専門医機構で定める総合診療専門医（基本領域）  
日本専門医機構で定める専門医（サブスペシアルティ領域）等
- 2 修得可能な知識・技能
- ・包括的統合アプローチ

・一般的な健康問題に対する診療能力

・患者中心の医療・ケア

・連携重視のマネジメント

・地域包括ケアを含む地域志向アプローチ

・公益に資する職業規範

・多様な診療の場に対応する能力

3 モデルコース

臨床経験年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9
コース 1	区分	卒後臨床研修		総合診療専門医プログラム			専門医研修（サブスペシアルティ領域 ※家庭医（仮）、病院総合診療医（仮））			
	勤務先	県内臨床研修病院		県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県病または連携施設			
コース 2	区分	卒後臨床研修		内科専門医プログラム			専門医研修（サブスペシアルティ領域 ※病院総合診療医（仮）、感染症専門医（仮）、 集中治療医（仮）、救急専門医（仮）など）			
	勤務先	県内臨床研修病院		県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県病または連携施設			

※上記はあくまでも一例であり、プログラムを中断した場合は義務履行満了まで年数が延長となる可能性もあります。

※コース 2 は卒後 3 ～ 5 年目に内科専門医研修（基本領域）を行う場合のものです。

総合診療分野のサブスペ領域の資格の取得に向けた選択肢の 1 つとして例示しています。

サブスペシアルティ領域については、現在日本専門医機構において整備中であるため、仮で記載をしております。

※県指定医療機関は別紙 1 「青森県地域医療対策協議会が定めるキャリア形成プログラム義務履行可能医療機関」に準ずる。

4 連携施設

	県指定医療機関		県指定医療機関以外 （勤務期間は義務猶予扱）
	医師少数区域及び 医師少数スポット	医師少数区域以外	
連携施設	外ヶ浜中央病院 板柳中央病院 三戸中央病院 六ヶ所村地域家庭医療センター 大間病院 田子診療所 東通診療所	弘前大学医学部附属病院	

【産婦人科モデルコース】

1 取得可能な専門医等の資格

日本専門医機構で定める産婦人科専門医（基本領域）  
日本専門医機構で定める専門医（サブスペシャリティ領域）等

2 修得可能な知識・技能

詳細は「2017年度以降に研修を始める専攻医のための研修カリキュラム」参照

- ・総論（女性生殖器、胎児及び新生児の生理、病理等）、生殖・内分泌領域、周産期領域、婦人科腫瘍領域、女性のヘルスケア領域
- ・適切な検査や診療
- ・基本的治療法、手技
- ・救急患者のプライマリケア
- ・産婦人科領域の処置、手術
- ・患者、家族、医療関係者とのコミュニケーション

3 モデルコース

臨床経験年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9
コース 1	区分	卒後臨床研修		専門医研修（基本領域）			専門医研修（サブスペシャリティ領域）			
	勤務先	県内臨床研修病院		県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県指定医療機関			
コース 2	区分	卒後臨床研修		専門医研修（基本領域）			キャリア形成プログラムに基づく県内医療機関での勤務			
	勤務先	県内臨床研修病院		県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県指定医療機関			

※上記はあくまでも一例であり、プログラムを中断した場合は義務履行満了まで年数が延長となる可能性もあります。  
※県指定医療機関は別紙 1「青森県地域医療対策協議会が定めるキャリア形成プログラム義務履行可能医療機関」に準ずる。  
※青森県立中央病院で研修可能なサブスペシャリティ領域は「周産期」及び「腫瘍」です。  
※弘前大学大学院医学研究科で乙の学位申請及び取得が可能です。なお、資格申請の時点で医学研究科の研究生であることが条件です。  
（詳しくは[https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/img/pdf/kitei/2\\_04.pdf](https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/img/pdf/kitei/2_04.pdf)を参照）

4 連携施設

	県指定医療機関		県指定医療機関以外 （勤務期間は義務猶予扱）
	医師少数区域及び 医師少数スポット	医師少数区域以外	
連携施設		弘前大学医学部附属病院	津軽保健生活協同組合 健生病院

【救急科モデルコース】

1 取得可能な専門医等の資格

日本専門医機構で定める救急科専門医（基本領域）  
日本専門医機構で定める専門医（サブスペシャリティ領域）等

2 修得可能な知識・技能

- ・様々な傷病、緊急度を有する複数の救急患者への適切な初期治療能力
- ・重症患者への集中治療
- ・他の診療科や医療職種と連携、協力し、良好なコミュニケーションのもとで診療を進める能力
- ・ドクターヘリ、ドクターカーにおける病院前診療
- ・病院前救護のメディカルコントロール
- ・外傷患者の蘇生的緊急手術・急性腹性を中心とした緊急手術と術後管理
- ・各種災害医療に必要な知識

3 モデルコース

臨床経験年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9
コース 1	区分	卒後臨床研修		専門医研修（基本領域）			専門医研修（サブスペシャリティ領域：集中治療専門医を目指しながら救急医療、災害医療に従事）その他、希望する診療科での修練			
	勤務先	県内臨床研修病院		県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県指定医療機関			
コース 2	区分	卒後臨床研修		専門医研修（基本領域）			キャリア形成プログラムに基づく県内医療機関での勤務			
	勤務先	県内臨床研修病院		県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県病 または 連携施設	県指定医療機関			

4 連携・特別連携施設

	県指定医療機関		県指定医療機関以外 （勤務期間は義務猶予扱）
	医師少数区域及び 医師少数スポット	医師少数区域以外	
連携施設	弘前総合医療センター	弘前大学医学部附属病院	津軽保健生活協同組合 健生病院 （※連携施設の追加申請手続中） 自治医科大学附属病院 松戸市立総合医療センター （※連携施設の追加申請手続中）
特別連携施設			

※上記は基本領域における連携・特別連携施設です。